

公益財団法人 仁科記念財団
第 13 回 定 時 評 議 員 会 会 議 次 第

日 時 令和 5 年 6 月 5 日（月曜日）13 時 00 分～14 時 00 分

形 式 オンライン（Zoom）

オンラインでの会議に先立って、出席者全員の映像および音声共有されていることを確認させていただきます。

1. 山田作衛評議員会会長挨拶。
2. 会長が議長となり、出席評議員数が定款第 22 条 2 項に定める定足数 6 名に達していることを確認の上、開会。（資料 1：評議員名簿）
3. 小林誠理事長報告
 - (1) 本評議員会の開催につきましては、令和 5 年 5 月 16 日にオンラインで開催されました第 42 回理事会におきまして議事録（資料 2）の通り承認されております。（定款第 23 条）
 - (2) 令和 4 年度事業報告書および決算書につきましては、定款第 12 条に則り会計監査人の会計監査および監事の監査を受け、第 42 回理事会において議事録（資料 2）の通り承認されましたので、本評議員会第 1 号議案としてご審議いただきたく、案（資料 3）として提出いたします。【事業報告書案：常務理事説明、決算書案：事務局長説明】
 - (3) 本評議員会終了後の次期評議員、理事、監事、会計監査人の候補者が、第 42 回理事会において承認されたので、本評議員会第 2 号、第 3 号、第 4 号議案として審議いただきたく、案（資料 4）として提出いたします。【理事長説明】
 - (4) 令和 5 年度事業計画書および収支予算書は（資料 5）の通りとなっております。これらはオンラインでの第 41 回理事会において承認され、昨年度内に内閣府に届け出済みであります。【事業計画書：常務理事説明、収支予算書：事務局長説明】
4. 議案審議
 - 第 1 号議案：令和 4 年度事業報告書および決算書の承認の件
令和 4 年度の事業報告書および決算書を原案の通り承認いたしたくお諮りいたします。（定款第 12 条）
 - 第 2 号議案：次期評議員の選任の件
次期評議員（任期は 4 年後の定時評議員会終了時まで）を理事会の原案の通り承認いたしたくお諮りいたします。尚、審議と決議は、各候補者＜個別＞に行います。
 - 第 3 号議案：次期理事および監事の選任の件
次期理事および監事（任期は 2 年後の定時評議員会終了時まで）を理事会の原案の通り承認いたしたくお諮りいたします。尚、審議と決議は、各候補者＜個別＞に行います。
 - 第 4 号議案：会計監査人の選任の件
会計監査人（任期は 1 年後の定時評議員会終了時まで）として宮田芳直氏を重任とする案を承認いたしたくお諮りいたします。

5. 議事録署名人の選出

議事録署名人は、議長の他、出席された評議員 2 名にお願いいたします。(定款第 26 条)

【有本評議員と高橋評議員にお願いする予定】

以上

[会議資料]

- (1) 資料 1：評議員会名簿
- (2) 資料 2：第 42 回理事会議事録
- (3) 資料 3-1：令和 4 年度事業報告書（案）
資料 3-2：令和 4 年度決算書（案）
- (4) 資料 4-1：次期評議員候補一覧および各候補者略歴書
資料 4-2：次期理事、監事候補者一覧および各候補者略歴書
- (5) 資料 5-1：令和 5 年度事業計画書
資料 5-2：令和 5 年度収支予算書

評 議 員

氏 名	主たる職名
秋光 純	岡山大学異分野基礎科学研究所特任教授、 広島大学特任教授
有本 建男	政策研究大学院大学客員教授 科学技術振興機構上席フェロー
江澤 洋	学習院大学名誉教授
京藤 倫久	元日本学術振興会監事
九後 太一	京都大学基礎物理学研究所特任教授
郷 通子	長浜バイオ大学特別客員教授 中部大学創発学術院客員教授 名古屋大学名誉教授 お茶の水女子大学名誉教授(元学長)
齋藤 軍治	京都大学名誉教授
佐藤 勝彦	日本学術振興会学術システム研究センター顧問 東京大学名誉教授
高橋真理子	科学ジャーナリスト
山田 作衛 (会 長)	東京大学名誉教授 高エネルギー加速器研究機構名誉教授 総合研究大学院大学名誉教授
吉田庄一郎	株式会社ニコン特別顧問

公益財団法人仁科記念財団 第 42 回 理 事 会 議 事 録

1. 日 時 令和 5 年 5 月 16 日（火曜日） 17 時 30 分～18 時 00 分
2. 形 式 オンライン会議（Zoom による）
3. 出 席 総数 11 名（理事現在数 11 名）

出席理事：

安藤恒也	家 泰弘	伊藤公孝	上蓑義朋	梶田隆章
小林 誠	佐々木節	永宮正治	藤川和男	矢野安重

以上 10 名

出席監事：

荒船次郎

以上 1 名

出席事務局長：

松林孝昭

4. 議事の経過と結果

第 42 回理事会をオンライン会議として開始するにあたって、出席（参加）理事、監事、事務局長全員の音声および映像が共有されていることを確認した。

定刻、小林誠理事長が議長となり、出席理事数が定款第 37 条 3 項に定める定足数 6 名に達していることを確認の上、理事会開会を宣言した。

(1) 議案審議

第 1 号議案：令和 4 年度事業報告書案および決算書案の承認の件

議長より、令和 4 年度事業報告書案および決算書案の説明があり、審議の結果、全出席理事異議なく原案を第 13 回定時評議員会に諮ることが承認された。

第 2 号議案：次期評議員、次期役員等候補者案の承認の件

議長より、第 13 回定時評議員会に本理事会から推薦する次期評議員、理事、監事、会計監査人の候補案が以下の通り提示され、審議の結果、全出席理事異議なく原案通り承認された。

候補案は、次期評議員（任期は 4 年後の定時評議員会終了時まで）として、永宮正治理事、小谷元子東北大学理事・副学長、中村道治科学技術振興機構顧問を新任、秋光純評議員、有本建男評議員、京藤倫久評議員、九後太一評議員、齋藤軍治評議員、佐藤勝彦評議員、

高橋真理子評議員、山田作衛評議員を重任、また、次期理事（任期は2年後の定時評議員会終了時まで）として、須藤靖運営諮問委員、初田哲男運営諮問委員、早野龍五運営諮問委員長を新任、安藤恒也理事、家泰弘常務理事、上養義朋理事、梶田隆章理事、佐々木節理事、十倉好紀理事、藤川和男常務理事、矢野安重常務理事を重任、次期監事（任期は2年後の定時評議員会終了時まで）として伊藤公孝理事を新任、荒船次郎監事を重任、会計監査人（任期は1年後の定時評議員会終了時まで）として宮田芳直氏を重任。

第3号議案：第13回定時評議員会の招集の件

議長より、第13回定時評議員会を令和5年6月5日13:00よりオンラインにて開催したい旨提案があり、全出席理事異議なく承認された。尚、議案は、1) 令和4年度事業報告書案および決算書案の承認、2) 次期の評議員、理事、監事、会計監査人の選任、とする。

以上で議事を終了し、本理事会の議事録署名人は定款第40条に則り、理事長のほか荒船次郎監事とすることとした後、理事長 本理事会の終了を宣し閉会した。

以上の議事録が正確なものであることを証するため、議事録署名人、下記に署名捺印する。

令和5年5月16日

公益財団法人仁科記念財団 第42回 理事会

理 事 長

小 林 誠

監 事

荒 船 次 郎

本議事録の作成にかかわる職務を行ったものの氏名

仁科記念財団常務理事 矢野安重

公益財団法人仁科記念財団

令和 4 年度（2022 年度）事業報告書（案）

仁科記念財団は、故仁科芳雄博士のわが国及び世界の学術文化に対する功績を記念し、定款第 4 条に掲げられている通り、広い意味の原子物理学およびその応用に関する研究において次の公益目的事業を行う。(1) きわめて優秀な成果を収めた者に対する仁科記念賞など褒賞の授与 (2) 著名な研究者による仁科記念講演会など学術的交流・集会の開催 (3) 歴史的に貴重な資料・図書などの発掘・研究・保存・公開のための仁科記念室の運営 (4) 知識および思想を普及啓発するための出版物刊行などの活動 (5) 優秀な人材の海外への派遣および外国からの受け入れの助成。

1. 令和 4 年度（2022 年度）に行った公益目的事業

(1) きわめて優秀な成果を収めた者に対する仁科記念賞など褒賞の授与

■第 68 回仁科記念賞

仁科記念賞は、広い意味の原子物理学およびその応用に関して傑出した業績をあげた日本の研究者に授けられる賞で、当財団創設の昭和 30 年（1955 年）以来、毎年数名の研究者に授与されてきた。

これまでの受賞者の総数は 199 名（本年度の 2 名を含む）となり、その中からは、その後国内外での著名な賞に輝いた受賞者が多く、研究者社会において仁科記念賞の価値と名誉は広く認められている。たとえば、ノーベル物理学賞受賞者 6 名（江崎玲於奈氏、小林誠氏、益川敏英氏、小柴昌俊氏、中村修二氏、梶田隆章氏）、文化勲章受章者 14 名、恩賜賞受賞者 9 名、日本学士院賞受賞者 30 名となっている。

仁科記念賞規程では、① 6 月 1 日から 8 月 31 日の 3 ヶ月間、当財団ホームページ(HP)、日本物理学会誌、応用物理学会誌等に、仁科記念賞候補者募集要項を公表するとともに、広く学識者からの推薦を公募し ② 授賞件数は 3 件以内 ③ 選考は選考委員会で行い受賞者には、賞状、賞牌と 1 件当たり 60 万円の副賞を授ける ④ 選考結果は理事会の承認を得た後すみやかに新聞紙上等に公表 ⑤ 授賞式は仁科芳雄博士の誕生日の 12 月 6 日にこれまでの受賞者を含めた研究交流の懇談会の場で行うとしている。

本年度第 68 回仁科記念賞もこの規程の通り選考が行われた。選考委員会（安藤恒也委員長他 14 名）は、今年度推薦のあった 25 件の候補についてオンライン会議で慎重に審議したのち、次の 2 件（2 名）に授与することに決定した。

1) 業績題目：「スピン流物理学の開拓」

受 賞 者：齊藤英治

東京大学大学院工学研究科・教授

2) 業績題目：「宇宙背景放射を用いた標準宇宙論への貢献」

受賞者：小松英一郎

Max Plank Institute for Astrophysics, Director

この結果は令和 4 年 10 月 27 日に開催された第 40 回理事会（オンライン会議）で承認され、11 月 10 日に日本アイソトープ協会第 2 会議室にて新聞発表を行った。

本年度の授賞式は 12 月 6 日に、学士会館にて受賞者 2 名と同伴者、理事長、常務理事、選考委員長、評議員会会長ほか財団関係者が参加して執り行われた。受賞記事は、当財団 HP に加えて、Association of Asia Pacific Physical Societies (AAPPS) の Bulletin にも公開された。

■第 10 回 Nishina Asia Award（仁科アジア賞）

当財団は、平成 24 年度（2012 年度）に Nishina Asia Award（仁科アジア賞）を創設した。

Nishina Asia Award は、アジアに研究基盤をおいて極めて優れた成果を挙げた日本以外のアジアの若手研究者（学位取得後 15 年以内）1 名に授与される。受賞者には、賞状と賞牌および賞金 40 万円を仁科記念賞授賞式場で贈呈し、さらに授賞式の前後約 1 週間、わが国の研究者との研究交流を助成する。選考は Nishina Asia Award 規程に則り当該選考委員会（佐々木節委員長他 11 名）で行い、選考結果は理事長の承認を得て 9 月初旬には受賞者に通知される。

第 10 回となる 2022 年 Nishina Asia Award の候補者募集要項を令和 4 年（2022 年）1 月 1 日から 3 月 31 日の 3 ヶ月間、当財団 HP に掲示するとともに、広く世界の学識者からの推薦を公募した結果、25 件の推薦があった。

選考委員会がオンライン会議で慎重に選考した結果、

インド籍の Suvrat Raju 氏（Professor, International Centre for Theoretical Sciences, Tata Institute of Fundamental Research, Bengaluru, India）に “for his original and influential insights into the resolution of the black hole information paradox and the principle of holography in quantum gravity” の業績に対し授賞することに決定した。

受賞記事は、本財団 HP と AAPPS の Bulletin に公開された。本年度は新型コロナ禍で招聘できないため、Raju 氏に、賞金を送金した。新型コロナ禍が終息し次第、セミナーのために招聘し、賞状と賞牌を手交することになっている。

なお、第 40 回理事会において、昨今のアジア諸国における基礎物理学振興の高まりに鑑み、Nishina Asia Award の本来の使命は全うされたと判断されることから、第 11 回以降の Nishina Asia Award は廃止することにした。

(2) 著名な研究者による仁科記念講演会など学術的交流・集会の開催

■第 68 回定例仁科記念講演会

仁科記念講演会は当財団創立以来の重要な事業で、社会に基礎物理学とその応用の真髄を会得していただくため、毎年一般の参加を得て開催されてきている。

本年度は、以下のように第 68 回定例仁科記念講演会「スピン流の理（ことわり）と使い途」が開催された。

日 時：令和 4 年 12 月 5 日（日）15:00～17:30

場 所：東京大学本郷キャンパス工学部 2 号館 212 号講義室
（Webinar にてライブ配信）

主 催：公益財団法人仁科記念財団

共 催：東京大学大学院工学研究科物理工学専攻

後 援：公益社団法人日本アイソトープ協会
（プログラム）

挨 拶：小林 誠 仁科記念財団理事長

司 会：家 泰弘 仁科記念財団常務理事
学校法人中部大学 理事・副総長

講 演：「スピンはめぐる一固体の中で」

永長 直人 理化学研究所創発物性科学研究センター副センター長
東京大学工学系研究科 教授

講 演：「スピン流と角運動量の物理」

齊藤 英治 東京大学工学系研究科 教授

参加者：55 名（会場）、139 名（オンライン）

当財団 HP にてポスターと「講演録画」（YouTube）を公開している。

（3）歴史的に貴重な資料・図書などの発掘・研究・保存・公開のための仁科記念室の運営
仁科芳雄博士の執務室（通称「仁科記念室」）に保存されていた史料の理化学研究所への移管が完了したことを踏まえ、それらの整理を理研史料室と共同で行うとともに、当財団 HP の「仁科芳雄デジタル記念館」での公開を進めた。

（4）知識および思想を普及啓発するための出版物刊行

本年度も、仁科記念講演会の講演録とその講演録画とともに、当財団がこれまで刊行してきた雑誌等を電子化して HP の「出版および史料研究調査」に順次公開してきた。

刊行物としては、例年通り、2022 年版仁科記念財団案内（2022 年 6 月）を刊行した。これまでの財団案内は、すべて HP で閲覧、ダウンロードできる。

(5) 優秀な人材の海外への派遣および外国からの受け入れの助成

本年度は、新型コロナ禍のために Nishina Asia Award 受賞者を招聘できなかった。

2. 賛助会員および特別寄附

- ・本年度の賛助会員数は 6 法人（科研製薬株式会社、鹿島建設株式会社、キッコーマン株式会社、住友化学株式会社、住友重機械工業株式会社、公益財団法人本田財団）、1 個人。
- ・公益財団法人科学振興仁科財団（岡山県里庄町）から昨年度に続き特別寄附金を頂戴し、「特定資産」に繰り込んだ。

3. 物故

- ・元客員運営諮問委員、宮沢弘成氏が、2023 年 1 月 14 日に逝去された。享年 95 歳。
- ・助言委員、宮本健郎氏が、2022 年 4 月 4 日に逝去された。享年 90 歳。

4. 会議

本年度開催した評議員会、理事会、選考委員会、運営会議・運営諮問委員会の開催日時、出席者、議事は以下の通り。評議員会は対面とオンラインを併用して開催し、その他の会議はすべてオンラインで開催した。なお、評議員会と理事会の議事録は、HP に公示している。

(1) 評議員会

1) 第 12 回（定時）

日時：令和 4 年 6 月 6 日 14:00～15:00

場所：東京都千代田区九段北 アルカディア市ヶ谷 私学会館 7 階 白山

出席評議員：秋光純、有本建男、京藤倫久、九後太一、郷道子、齋藤軍治、佐藤勝彦、
高橋真理子、山田作衛（会長）、吉田庄一郎
（下線を付した評議員は、オンラインにて出席）

欠席評議員：江澤洋

出席監事：荒船次郎、鈴木増雄
（下線を付した監事は、オンラインにて出席）

出席理事：小林誠理事長、矢野安重常務理事

出席事務局長：松林孝昭

議事：①令和 3 年度事業報告書および決算書が原案通り承認された。②会計監査人として、宮田芳直会計監査人を重任とする案が承認された。

(2) 理事会

1) 第 39 回

日時：令和 4 年 5 月 20 日 17:30～18:00

出席理事：安藤恒也、家泰弘、上養義朋、梶田隆章、小林誠、佐々木節、十倉好紀、永宮正治、藤川和男、矢野安重

出席監事：荒船次郎、鈴木増雄

議事：①令和 3 年度事業報告書案および決算書案の説明があり、原案を第 12 回定時評議員会に諮ることが承認された②第 12 回定時評議員会を令和 4 年 6 月 6 日 14:00 より東京都千代田区九段の私学会館にてオンライン併用のハイブリッド会議として開催こととした。尚、議案は、1) 令和 3 年度事業報告書案および決算書案の承認、2) 会計監査人の選任の 2 件とした。

2) 臨時理事会

日時：令和 4 年 7 月 1 日 17:30～18:00

出席理事：安藤恒也、家泰弘、伊藤公孝、上養義朋、梶田隆章、小林誠、佐々木節、十倉好紀、永宮正治、藤川和男、矢野安重

出席監事：荒船次郎

議事：①本年 10 月 28 日に開催される国立研究開発法人理化学研究所主催の「仁科芳雄記念室お披露目会およびシンポジウム」を共催することとした。

3) 第 40 回

日時：令和 4 年 10 月 27 日 17:30～18:00

出席理事：安藤恒也、家泰弘、伊藤公孝、上養義朋、梶田隆章、小林誠、佐々木節、十倉好紀、永宮正治、藤川和男、矢野安重

出席監事：荒船次郎

欠席監事：鈴木増雄

出席選考委員長：安藤恒也委員長

報告：議案審議に先立って、定款第 28 条第 4 項に則り、小林理事長、家常務理事、藤川常務理事、矢野常務理事より、本年度上半期に行った、それぞれ、財団運営の総理、仁科記念講演会の開催、仁科記念賞および仁科アジア賞の運営、財団運営の総務についての業務執行状況が個別に報告された。

議事：①令和 4 年度（第 68 回）仁科記念賞を決定した。②昨今のアジア諸国における基礎物理学振興の高まりに鑑み、Nishina Asia Award の本来の使命は全うされたと判断されるので、同賞は今年度の第 10 回をもって廃止することとした。

4) 第 41 回

日時：令和 5 年 3 月 20 日 17:30～18:30

出席理事：安藤恒也、家泰弘、伊藤公孝、上養義朋、梶田隆章、小林誠、佐々木節、十倉好紀、永宮正治、藤川和男、矢野安重

出席監事：荒船次郎

出席仁科記念賞選考委員：安藤恒也委員長

報告：議案審議に先立って、定款第 28 条第 4 項に則り、小林理事長、家常務理事、藤川常務理事、矢野常務理事より、本年度下半期に行った、それぞれ、財団運営の総理、仁科記念講演会の開催、仁科記念賞および仁科アジア賞の運営、財団運営の総務についての業務執行状況が個別に報告された。

議事：①令和 5 年度（2023 年度）事業計画書および収支予算書案を承認した。②2023 年度事業計画を遂行するにあたり、特定資産を 580 万円取り崩すことを承認した。③小林理事長より「2023 年度に借入れおよび設備投資の予定はない」旨報告があり了承された。④公益社団法人日本アイソトープ協会との定期建物賃貸借契約変更に伴う利益相反取引を承認した。⑤定款第 48 条第 2 項により、松林孝昭氏を、経理を主たる業務とする事務局長（原則週 2 日勤務）として重任することを承認した。

（3） 仁科記念賞選考委員会

1) 第 1 回

日時：令和 4 年 9 月 21 日 17:00～21:00

出席委員：安藤恒也委員長、選考委員

出席理事：小林誠理事長、藤川和男、矢野安重常務理事

2) 第 2 回

日時：令和 3 年 10 月 18 日 17:00～21:00

出席委員：安藤恒也委員長、選考委員

出席理事：小林誠理事長、藤川和男、矢野安重常務理事

議題；①令和 4 年度仁科記念賞受賞者の選考委員会案を決定した。

（4） Nishina Asia Award 選考委員会

1) 第 1 回

日時：令和 4 年 5 月 16 日 17:00～20:00

出席委員：佐々木節委員長、選考委員

出席理事：小林誠理事長、藤川和男、矢野安重常務理事

2) 第 2 回

日時：令和 4 年 8 月 4 日 17:00～20:00

出席委員：佐々木節委員長、選考委員

出席理事：小林誠理事長、藤川和男、矢野安重常務理事

議題：①第10回2022年Nishina Asia Award受賞者の選考委員会案を決定した。

(5) 運営会議・運営諮問委員会

1) 第1回

日時：令和4年4月22日（金）17:30~19:30

出席委員：早野龍五委員長、櫻井博儀、永長直人

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、伊藤公孝、
上蓑義朋、十倉好紀

出席監事：荒船次郎、鈴木増雄

オブザーバー：西村純、山田作衛

事務局：松林孝昭

議題：①2021年度事業報告書および決算書（案）について ②2022年度定例仁科記念講演会について ③理研「仁科記念室」進捗状況報告

2) 第2回

日時：令和4年5月20日 18:00~19:30

出席委員：早野龍五委員長、磯暁、永長直人

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、伊藤公孝、
上蓑義朋、梶田隆章、佐々木節、十倉好紀、永宮正治

出席監事：荒船次郎、鈴木増雄

オブザーバー：秋光純、西村純、山田作衛

事務局：松林孝昭

議題：①2022年度（第68回）定例仁科記念講演会の講演会テーマ、講演題目、開催
時間、開催場所と形式について ②第11回以降のNAAをどうするかについて

3) 第3回

日時：令和4年7月1日 18:00~19:30

出席委員：早野龍五委員長、須藤靖、永長直人、初田哲男

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、
伊藤公孝、梶田隆章、佐々木節、十倉好紀、永宮正治

出席監事：荒船次郎、鈴木増雄

オブザーバー：秋光純、西村純、山田作衛

事務局：松林孝昭

議題：①第 11 回以降の NAA をどうするかについて ②仁科記念賞賞牌（現在約 23 万円）のコストダウンについて

4) 第 4 回

日時：令和 4 年 9 月 5 日 17:30～19:30

出席委員：早野龍五委員長、磯暁、須藤靖、永長直人、初田哲男

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、
上蓑義朋、梶田隆章、佐々木節、十倉好紀、永宮正治

出席監事：荒船次郎

オブザーバー：秋光純、西村純、山田作衛

事務局：松林孝昭

議題：①第 11 回以降の NAA（招聘）事業をどのように廃止するか。②12 月 6 日の学士会館での授賞式の規模をどうするか。③12 月 3 日のハイブリッド仁科記念講演会の会場について ④仁科記念賞賞牌（現在約 23 万円）のコストダウンについて

5) 第 5 回

日時：令和 4 年 10 月 27 日 18:00～19:30

出席委員：早野龍五委員長、磯暁、櫻井博儀、須藤靖、永長直人

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、
伊藤公孝、上蓑義朋、梶田隆章、佐々木節、十倉好紀、永宮正治

出席監事：荒船次郎

オブザーバー：西村純、山田作衛

議題：①来年 6 月以降の新体制について（理事長より）②第 11 回以降の NAA 事業をどのように廃止するか ③12 月 6 日の学士会館での授賞式・祝賀晩餐会への参加者、受賞者のオンライン出席 ④12 月 3 日の仁科記念講演会の宣伝方法について

6) 第 6 回

日時：令和 4 年 11 月 25 日 17:30～19:30

出席委員：早野龍五委員長、櫻井博儀、須藤靖、永長直人

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、
伊藤公孝、上蓑義朋、梶田隆章、佐々木節、十倉好紀、永宮正治

出席監事：荒船次郎

オブザーバー：西村純、山田作衛

事務局：松林孝昭

議題：①第 11 回以降の NAA 事業をどのように廃止するか（より具体的に）②理研「仁科記念室」見学会はどうか：櫻井センター長の案内 今のところ 2 月【2/6、13、15、17、20、21、24、27】③仁科記念室に関する理研との協力協定案について

7) 第 7 回

日時：令和 4 年 12 月 23 日 17:30～19:30

出席委員：早野龍五委員長、櫻井博儀、須藤靖、永長直人

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、伊藤公孝、上蓑義朋、佐々木節、十倉好紀、永宮正治

出席監事：荒船次郎

オブザーバー：西村純、山田作衛

事務局：松林孝昭

議題：①拡大常務理事会の提案について ②理研「仁科記念室」見学会はどうか：櫻井センター長の案内

8) 第 8 回

日時：令和 5 年 1 月 30 日 17:30～19:30

出席委員：早野龍五委員長、須藤靖、永長直人、初田哲男

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、伊藤公孝、上蓑義朋、梶田隆章、佐々木節、十倉好紀

出席監事：荒船次郎

オブザーバー：山田作衛

事務局：松林孝昭

議題：①拡大常務理事会の提案について ②理研「仁科記念室」見学会はどうか

9) 第 9 回

日時：令和 5 年 3 月 9 日 17:30～19:30

出席委員：早野龍五委員長、須藤靖、永長直人、初田哲男

出席理事：小林誠理事長、家泰弘、藤川和男、矢野安重常務理事、安藤恒也、伊藤公孝、上蓑義朋、梶田隆章、佐々木節、十倉好紀、永宮正治

出席監事：荒船次郎

オブザーバー：西村純

事務局：松林孝昭

議題：①伊藤憲二氏著「励起」上下巻（みすず書房出版）をみすず書房から買い取る
件 ②第 41 回理事会に諮る議案について ③運営諮問委員の新任について

(1) 貸 借 対 照 表
令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	2,963,049	3,506,614	△ 543,565
未収収益	0	0	0
前払金	0	0	0
流動資産合計	2,963,049	3,506,614	△ 543,565
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	580,641,955	580,709,794	△ 67,839
預金	5,683,020	5,615,181	67,839
基本財産合計	586,324,975	586,324,975	0
(2) 特定資産			
仁科記念奨励基金			
投資有価証券	50,488,419	50,637,656	△ 149,237
預金	55,000,000	60,000,000	△ 5,000,000
特定資産合計	105,488,419	110,637,656	△ 5,149,237
(3) その他の固定資産	0	0	0
固定資産合計	691,813,394	696,962,631	△ 5,149,237
資産合計	694,776,443	700,469,245	△ 5,692,802
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金	70,129	70,606	△ 477
預り金	33,380	23,080	10,300
流動負債合計	103,509	93,686	9,823
2.固定負債	0	0	0
負債合計	103,509	93,686	9,823
III 正味財産の部			
1.指定正味財産	632,324,975	636,324,975	△ 4,000,000
(うち基本財産への充当額)	(586,324,975)	(586,324,975)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(46,000,000)	(50,000,000)	(△ 4,000,000)
2.一般正味財産	62,347,959	64,050,584	△ 1,702,625
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(59,488,419)	(60,637,656)	(△ 1,149,237)
正味財産合計	694,672,934	700,375,559	△ 5,702,625
負債及び正味財産合計	694,776,443	700,469,245	△ 5,692,802

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	(4,934,508)	(5,099,886)	(△ 165,378)
基本財産受取利息	4,934,508	5,099,886	△ 165,378
② 特定資産運用益	(175,465)	(164,046)	(11,419)
特定資産受取利息	175,465	164,046	11,419
③ 受取会費	(1,210,000)	(1,620,000)	(△ 410,000)
賛助会費受取会費	1,210,000	1,620,000	△ 410,000
④ 受取寄付金	(100,000)	(1,100,000)	(△ 1,000,000)
受取寄付金	100,000	1,100,000	△ 1,000,000
⑤ 雑収益	(1,723)	(37)	(1,686)
雑収益	1,723	37	1,686
経常収益 計	6,421,696	7,983,969	△ 1,562,273
(2) 経常費用			
① 事業費	(8,260,810)	(8,144,130)	(116,680)
仁科記念賞顕彰費	2,604,007	1,831,516	772,491
仁科記念講演会費	147,090	167,055	△ 19,965
仁科記念奨励金	35,200	450,400	△ 415,200
研究関連出版物刊行費	0	0	0
諸謝金	457,717	493,270	△ 35,553
役員報酬	600,000	800,000	△ 200,000
給料手当	2,773,813	2,827,501	△ 53,688
旅費交通費	246,800	224,455	22,345
会議費	143,493	24,000	119,493
通信運搬費	31,557	27,651	3,906
消耗品費	174,314	172,398	1,916
賃借料	480,000	480,000	0
物件使用料	421,808	384,958	36,850
支払手数料	20,697	108,026	△ 87,329
雑費	124,314	152,900	△ 28,586
② 管理費	(3,863,511)	(4,310,687)	(△ 447,176)
諸謝金	330,000	330,000	0
役員報酬	600,000	800,000	△ 200,000
給料手当	1,775,412	1,797,899	△ 22,487
福利厚生費	14,819	14,520	299
旅費交通費	115,980	130,785	△ 14,805
会議費	200	200	0
印刷製本費	253,323	416,500	△ 163,177
通信運搬費	36,447	26,076	10,371
消耗品費	174,857	172,140	2,717
賃借料	120,000	120,000	0
物件使用料	363,000	363,000	0
支払手数料	7,473	7,107	366
雑費	72,000	132,460	△ 60,460
経常費用 計	12,124,321	12,454,817	△ 330,496
当期経常増減額	△ 5,702,625	△ 4,470,848	△ 1,231,777

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益 (資産受贈益)	0	0	0
経常外収益 計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用 計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,702,625	△ 4,470,848	2,768,223
一般正味財産期首残高	64,050,584	68,521,432	△ 4,470,848
一般正味財産期末残高	62,347,959	64,050,584	△ 1,702,625
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	4,934,508	5,099,886	△ 165,378
一般正味財産への振替額	△ 4,934,508	△ 5,099,886	165,378
当期指定正味財産増減額	△ 4,000,000		
指定正味財産期首残高	636,324,975	636,324,975	0
指定正味財産期末残高	632,324,975	636,324,975	△ 4,000,000
III 正味財産期末残高	694,672,934	700,375,559	△ 5,702,625

正味財産増減計算書 内訳書
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	(3,454,156)	(1,480,352)	(4,934,508)
基本財産受取利息	3,454,156	1,480,352	4,934,508
② 特定資産運用益		(175,465)	(175,465)
特定資産受取利息		175,465	175,465
③ 受取会費	(605,000)	(605,000)	(1,210,000)
賛助会費受取会費	605,000	605,000	1,210,000
④ 受取寄付金	(50,000)	(50,000)	(100,000)
受取寄付金	50,000	50,000	100,000
⑤ 雑収益	(0)	(1,723)	(1,723)
雑収益	0	1,723	1,723
経常収益 計	4,109,156	2,312,540	6,421,696
(2) 経常費用			
① 事業費	(8,260,810)		(8,260,810)
仁科記念賞顕彰費	2,604,007		2,604,007
仁科記念講演会費	147,090		147,090
仁科記念奨励金	35,200		35,200
研究関連出版物刊行費	0		0
諸謝金	457,717		457,717
役員報酬	600,000		600,000
給料手当	2,773,813		2,773,813
旅費交通費	246,800		246,800
会議費	143,493		143,493
通信運搬費	31,557		31,557
消耗品費	174,314		174,314
賃借料	480,000		480,000
物件使用料	421,808		421,808
支払手数料	20,697		20,697
雑費	124,314		124,314
② 管理費		(3,863,511)	(3,863,511)
諸謝金		330,000	330,000
役員報酬		600,000	600,000
給料手当		1,775,412	1,775,412
福利厚生費		14,819	14,819
旅費交通費		115,980	115,980
会議費		200	200
印刷製本費		253,323	253,323
通信運搬費		36,447	36,447
消耗品費		174,857	174,857
賃借料		120,000	120,000
物件使用料		363,000	363,000
支払手数料		7,473	7,473
雑費		72,000	72,000
経常費用 計	8,260,810	3,863,511	12,124,321
当期経常増減額	△ 4,151,654	△ 1,550,971	△ 5,702,625
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益 (資産受贈益)			0
経常外収益 計			0
(2) 経常外費用			
経常外費用 計			0
当期経常外増減額			0
当期一般正味財産増減額	△ 151,654	△ 1,550,971	△ 1,702,625
一般正味財産期首残高			64,050,584
一般正味財産期末残高			62,347,959
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	3,454,156	1,480,352	4,934,508
一般正味財産への振替額	△ 3,454,156	△ 1,480,352	△ 4,934,508
当期指定正味財産増減額	△ 4,000,000		△ 4,000,000
指定正味財産期首残高			636,324,975
指定正味財産期末残高			632,324,975
III 正味財産期末残高			694,672,934

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 適用している会計基準

平成 20 年 4 月 11 日(改正平成 21 年 10 月 16 日)に内閣府公益認定等委員会より公表された「公益法人会計基準」を適用している。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法について

すべて満期保有目的の債券として償却原価法（定額法）を採用している。

(3) 消費税等の処理について

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	580,709,794	40,149,200	40,217,039	580,641,955
預 金	5,615,181	5,683,020	5,615,181	5,683,020
小 計	586,324,975	45,832,220	45,832,220	586,324,975
特定資産 (仁科記念奨励基金)				
投資有価証券	50,637,656	0	149,237	50,488,419
預 金	60,000,000	55,000,000	60,000,000	55,000,000
小 計	110,637,656	55,000,000	60,149,237	105,488,419
合 計	696,962,631	100,832,220	105,981,457	691,813,394

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財産からの充当額	うち一般正味財産からの充当額	うち負債に対応する額
基本財産				
投資有価証券	580,641,955	580,641,955	0	0
預 金	5,683,020	5,683,020	0	0
小 計	586,324,975	586,324,975	0	0
特定資産 (仁科記念奨励基金)				
投資有価証券	50,488,419	0	50,488,419	0
預 金	55,000,000	46,000,000	9,000,000	0
小 計	105,488,419	46,000,000	59,488,419	0
合 計	691,813,394	632,324,975	59,488,419	0

4. 担保に供している資産はない。

5. 保証債務はない。

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
基本財産			
第177回利付国債(20年物)	50,000,000	45,203,500	△4,796,500
第9回三井住友FG社債(劣後債)	40,121,264	39,388,000	△733,264
第26回三菱東京UFJ銀行社債 (劣後債)	100,000,000	103,475,000	3,475,000
JPMorgan・チェース&CO・ ユーロ円債	250,000,000	201,457,500	△48,542,500
福岡市平成27年度第5回公募公債	40,289,129	40,463,600	174,471
第61回日産自動車社債	100,231,562	98,234,000	△1,997,562
小計	580,641,955	528,221,600	△52,420,355
特定資産(仁科記念奨励基金)			
第175回利付国債(20年)	20,244,907	18,522,800	△1,722,107
第321回北海道電力社債	20,191,643	20,232,000	40,357
岡山県平成26年度第2回公募公債	10,051,869	10,092,400	40,531
小計	50,488,419	48,847,200	△1,641,219
合計	631,130,374	577,068,800	△54,061,574

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益計上による振替額	4,934,508
合計	4,934,508

8. 注記すべき関連当事者との取引はない。

9. 重要な後発事象はない。

附属明細書

令和4年4月1日より令和5年3月31日まで

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。

2. 引当金の明細

期首又は期末のいずれにも残高はない。

(4) 財 産 目 録

令和5年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)				
	現 金	現金手許有高	運転資金として	846,463
	普通預金	みずほ銀行駒込支店他1口	運転資金として	2,048,001
	定期預金	みずほ銀行駒込支店		0
	ゆうちょ銀行	小石川店	運転資金として	68,585
	未収収益			0
	前払金			0
流動資産合計				2,963,049
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	国債	満期保有目的であり、運用益を事業と一部法人会計の財源として使用している。	50,000,000
		地方債		40,289,129
		事業債		490,352,826
	定期預金	三菱東京UFJ銀行駒込支店		5,683,020
特定資産	投資有価証券	国債	満期保有目的であり、運用益を法人会計の財源として使用している。	20,244,907
		地方債		10,051,869
		事業債		20,191,643
	定期預金	みずほ銀行駒込支店		55,000,000
固定資産合計				691,813,394
資産合計				694,776,443
(流動負債)				
	未払金	大塚商会 他	3月分消耗品 他未払金	70,129
	預り金	本郷税務署 他	源泉所得税 他	33,380
流動負債合計				103,509
(固定負債)				0
固定負債合計				0
負債合計				103,509
正味財産				694,672,934

令和 4年度(2022年度) 収支計算書(損益計算書)

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

標準進捗率

(単位:円)

100.0

科 目	当年度予算	決算額	差 異	進捗率(%)
I 一般正味財産増減の部				
1.経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	(5,000,000)	(4,934,508)	(65,492)	98.7
基本財産受取利息	5,000,000	4,934,508	65,492	
② 特定資産運用益	(170,000)	(175,465)	(△ 5,465)	103.2
特定資産受取利息	170,000	175,465	△ 5,465	
③ 受取会費	(1,610,000)	(1,210,000)	(400,000)	75.2
賛助会費受取会費	1,610,000	1,210,000	400,000	
④ 受取寄付金	(1,100,000)	(100,000)	(1,000,000)	9.1
受取寄付金	1,100,000	100,000	1,000,000	
⑤ 雑収益	(0)	(1,723)	(△ 1,723)	
雑収益	0	1,723	△ 1,723	
経常収益 計	7,880,000	6,421,696	1,458,304	
(2) 経常費用				
① 事業費				
仁科記念賞顕彰費	3,480,000	2,604,007	875,993	74.8
仁科記念講演会費	199,800	147,090	52,710	73.6
仁科記念奨励金	1,455,200	35,200	1,420,000	2.4
研究関連出版物刊行費	100,000	0	100,000	0.0
諸謝金	620,000	457,717	162,283	73.8
役員報酬	600,000	600,000	0	100.0
給料手当	2,930,000	2,773,813	156,187	94.7
旅費交通費	1,120,000	246,800	873,200	22.0
会議費	210,000	143,493	66,507	68.3
通信運搬費	100,000	31,557	68,443	31.6
消耗品費	200,000	174,314	25,686	87.2
賃借料	480,000	480,000	0	100.0
物件使用料	350,000	421,808	△ 71,808	120.5
支払手数料	30,000	20,697	9,303	69.0
雑費	0	124,314	△ 124,314	
事業費合計	11,875,000	8,260,810	3,614,190	69.6
② 管理費				
諸謝金	330,000	330,000	0	100.0
役員報酬	600,000	600,000	0	100.0
給料手当	1,840,000	1,775,412	64,588	96.5
福利厚生費	20,000	14,819	5,181	74.1
旅費交通費	340,000	115,980	224,020	34.1
会議費	55,000	200	54,800	0.4
印刷製本費	140,000	253,323	△ 113,323	180.9
通信運搬費	100,000	36,447	63,553	36.4
消耗品費	150,000	174,857	△ 24,857	116.6
賃借料	120,000	120,000	0	100.0
物件使用料	350,000	363,000	△ 13,000	103.7
支払手数料	10,000	7,473	2,527	74.7
雑費	100,000	72,000	28,000	72.0
管理費合計	4,155,000	3,863,511	291,489	93.0
経常費用 計	16,030,000	12,124,321	3,905,679	75.6
当期経常増減額	△ 8,150,000	△ 5,702,625	△ 2,447,375	

2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益 計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用 計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 8,150,000	△ 1,702,625	△ 6,447,375	
一般正味財産期首残高	65,000,000	64,050,584	949,416	
一般正味財産期末残高	56,850,000	62,347,959	△ 5,497,959	
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
基本財産運用益	5,000,000	4,934,508	65,492	
一般正味財産への振替額	△ 5,000,000	△ 4,934,508	△ 65,492	
当期指定正味財産増減額	0	△ 4,000,000	4,000,000	
指定正味財産期首残高	636,324,975	636,324,975	0	
指定正味財産期末残高	636,324,975	632,324,975	4,000,000	
Ⅲ 正味財産期末残高	693,174,975	694,672,934	△ 1,497,959	

収支計算書に対する注記

収支計算書の予算・決算額との差異が著しい科目及びその理由

[収入の部]

(経常収益)

- ・ 受取会費（賛助金）の減少は、2 法人の退会による。
- ・ 受取寄付金予算額 110 万円に対して決算額 10 万円となりましたが、アイソトープ協会の寄付金 100 万円が翌年度に繰越となった。理由は、小林誠財団理事長がアイソトープ協会会長も兼ねることから利益相反取引となるため翌年役員交代後とした。

[支出の部]

(経常費用)

〔事業費〕

- ・ 「仁科記念顕彰費」の差額 875,993 円は受賞件数を 3 件予算計上していたが 2 件となったことと、コロナ禍の影響で授賞式出席者を少人数としたため授賞式に関わる費用が抑えられたため。
- ・ 「仁科記念奨励金」はコロナ禍の影響で今年も授賞者招聘が延期となったため渡航費や滞在費の発生がなかった。
- ・ 「研究関連出版物刊行費」は、NKZ(記念講演録)の出版費用だが、発行を止め、データの PDF 化等の費用を見積もったが発生しなかった。
- ・ 「旅費交通費」は、コロナ禍の影響で会議は全て WEB となり交通費の発生がなしとなる。(管理費も同様)
- ・ 「会議費」も上記同様の理由による。(管理費も同様)
- ・ 「支払手数料」は、Web サイトの更新があったため増額となった。
- ・ 「雑費」は予算ゼロだったが、記念碑を理研和光に搬送する費用が発生した。

〔管理費〕

- ・ 印刷製本費（財団案内）が当初少なめの冊数で見積したが、増刷となった。
- ・ その他の経費実績は通常経費の範囲だが、コロナ禍の影響で「事業費」同様の理由で増減があり。

財産管理運用状況報告

報告日: 令和5年3月31日

公益財団法人仁科記念財団保有有価証券				格付記号(ムーディーズ:信用力の順) Aaa(信用力が最も高い) Aa A Baa(中程度の水準) Ba B Caa Ca C(リスクが高い) D(債務不履行に陥っている)					理事長	常務理事	報告者
有価証券運用額	691,813,394 円										
銘 柄	額面 (円)	簿価 (円)	単価 (円)	利率 (%)	時価評価額	格 付 ()	償還日	備 考			
〔基本財産〕											
JPモルガン・チェース&CO	250,000,000	250,000,000	100.000	0.850	201,457,500	(Aa2)	2050/3/24	コール条項(早期償還)あり。			
第26回三菱東京UFJ銀行社債(劣後債)	100,000,000	100,000,000	100.000	1.950	103,475,000	(A1)*	2025/11/12				
第9回三井住友FG社債(劣後債)	40,000,000	40,121,264	100.303	0.469	39,388,000	(A2)*	2026/6/15				
第61回日産自動車社債	100,000,000	100,231,562	100.232	0.330	98,234,000	(Baas3)	2026/3/19				
第177回利付国債(20年)	50,000,000	50,000,000	100.000	0.400	45,203,500	(A1)	2041/6/20				
福岡市平成27年度第5回公募公債	40,000,000	40,289,129	100.723	0.476	40,463,600	(A1)	2025/10/28				
三菱東京UFJ銀行定期預金(駒込支店)	5,683,020	5,683,020		0.002	5,683,020	(A1)	2023/3/31	1年定期(基本財産額調整分)			
(合 計)	585,683,020	586,324,975			533,904,620		-52,420,355	簿価と時価評価の差額			
〔仁科記念奨励基金財産:特定資産〕											
第321回北海道電力社債	20,000,000	20,191,643	100.958	0.886	20,232,000	(A)*	2024/12/25				
岡山県平成26年度第2回公募公債	10,000,000	10,051,869	100.519	0.465	10,092,400	(AA+)	2025/3/31				
第175回利付国債(20年)	20,000,000	20,244,907	101.225	0.500	18,522,800	(A1)					
定期預金(みずほ銀行駒込支店)	55,000,000	55,000,000		0.002	55,000,000	(A1)		3ヶ月 毎継続(内、4.6千万円は指定正味)			
(合 計)	105,000,000	105,488,419			103,847,200		-1,641,219	簿価と時価評価の差額			
(総 合 計)						637,751,820					

※格付けはムーディーズ、S&Pによる。
* 格付機関はJCR、R&I(日本)

評 議 員 候 補

(任期：令和5年6月5日～令和9年6月の定時評議員会終了時)

氏 名	主たる職名	
秋光 純	岡山大学異分野基礎科学研究所特任教授、 広島大学特任教授	重任
有本 建男	政策研究大学院大学客員教授 科学技術振興機構上席フェロー	〃
京藤 倫久	元日本学術振興会監事	〃
九後 太一	京都大学基礎物理学研究所特任教授	〃
齋藤 軍治	京都大学名誉教授	〃
佐藤 勝彦	日本学術振興会学術システム研究センター顧問 東京大学名誉教授	〃
高橋真理子	科学ジャーナリスト	〃
山田 作衛 (会 長)	東京大学名誉教授 高エネルギー加速器研究機構名誉教授 総合研究大学院大学名誉教授	〃
永宮 正治	高エネルギー加速器研究機構・ダイヤモンドフェロー 理化学研究所仁科加速器科学研究センター客員主管研究員	新任
小谷 元子	東北大学理事・副学長	〃
中村 道治	科学技術振興機構顧問	〃

資料 4 - 2

理事候補

(任期：令和5年6月5日～令和7年6月の定時評議員会終了時)

氏 名	主たる職名	
梶田 隆章	東京大学宇宙線研究所教授	重任
早野 龍五	東京大学名誉教授	〈新任〉
藤川 和男	東京大学名誉教授	重任
矢野 安重	理化学研究所仁科加速器科学研究センター客員主管研究員	重任
安藤 恒也	東京工業大学名誉教授	重任
家 泰弘	中部大学 理事・副総長 東京大学名誉教授	重任
上養 義朋	日本アイソトープ協会常務理事	重任
佐々木 節	東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構・特任教授	重任
須藤 靖	東京大学大学院理学系研究科教授	〈新任〉
十倉 好紀	理化学研究所創発物性科学研究センター長	重任
初田 哲男	理化学研究所数理創造プログラムディレクター	〈新任〉

監事候補

(任期：令和5年6月5日～令和7年6月の定時評議員会終了時)

氏 名	主たる職名	
荒船 次郎	東京大学名誉教授	重任
伊藤 公孝	中部大学総長補佐 先端研究センター・特任教授 核融合科学研究所フェロー	〈新任〉

会計監査人候補

(任期：令和5年6月5日～令和6年6月の定時評議員会終了時)

氏 名	主たる職名	
宮田 芳直	公認会計士	重任

公益財団法人 仁科記念財団

令和 5 年度（2023 年度）事業計画書

仁科記念財団の公益目的事業は、定款第 4 条に掲げられている通り、故仁科芳雄博士が開拓した原子物理学およびその応用に関する研究において（1）きわめて優秀な成果を収めた者に対する仁科記念賞など褒賞の授与（2）著名な研究者による仁科記念講演会など学術的交流・集会の開催（3）歴史的に貴重な資料・図書などの発掘・研究・保存・公開のための仁科記念室の運営（4）知識および思想を普及啓発するための出版物刊行（5）優秀な人材の海外への派遣および外国からの受け入れの助成です。

令和 5 年度（2023 年度）は、以下の公益目的事業を行います。

（1）仁科記念賞の授与

仁科記念賞は、財団が創立した 1955 年に第 1 回が授与されて以来の長い伝統をもち、原子物理学の分野では最も評価の高い賞としてよく知られています。2023 年度（第 69 回）も例年通り、2023 年 6 月 1 日から 8 月 31 日の 3 ヶ月間、当財団ホームページ、日本物理学会誌、応用物理学会誌 に仁科記念賞候補者募集要項を公表するとともに、広く学識者からの推薦を公募します。選考は仁科記念賞規程に則り選考委員会で行い、受賞者には、賞状、賞牌と 1 件当り 60 万円の副賞を授けます。授賞件数は、3 件以内とし、選考結果は理事会の承認を得た後すみやかに新聞紙上等に発表するとともに、授賞理由を当財団ホームページとアジア太平洋物理学会連合（Association of Asia Pacific Physical Societies: AAPPS）の Bulletin 上に公表します。本年度の授賞式は仁科芳雄博士の誕生日の 12 月 6 日（水）に、これまでの受賞者、選考委員、運営諮問委員、助言委員、顧問、評議員、役員の参加する研究交流の場で執り行います。

（2）仁科記念講演会の開催

仁科記念講演会は、社会に原子物理学およびその応用の真髄を知っていただくため、1955 年以来毎年、一般の参加を得て開催されてきています。本年度は、第 69 回の定例講演会を開催します。

（3）仁科芳雄博士の史料の保管・整理・公開

2021 年度に「仁科記念室」に保存されていた史料・物品の理化学研究所への移管が完了したことを踏まえ、それらの史料の整理を理研と共同で行うとともに当財団ホームページの「仁科芳雄デジタル記念館」での公開を進めます。

（4）出版物刊行

本年度も、仁科記念財団案内、仁科記念講演会の講演録や講演録画とともに、当財団がこれまで冊子体として刊行してきたものを全て電子化してホームページの「出版および史料研究調査」に順次公開します。

(5) 優秀な人材の外国からの招聘

2013 年度に創設した「仁科アジア賞」は、所期の目的を達成したため、昨年度の第 10 回をもって終了しました。

本年度は、コロナ禍のために招聘できなかった受賞者 3 名（昨年度および 2020 年度と 2021 年度）を受賞講演のため招聘します。

資料 5 - 2

令和5年度(2023年度)収支予算書
2023年4月1日から2024年3月31日まで公益財団法人仁科記念財団
(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	(4,757,000)	(5,000,000)	(△ 243,000)	
基本財産受取利息	4,757,000	5,000,000	△ 243,000	
② 特定資産運用益	(175,000)	(170,000)	(5,000)	
特定資産受取利息	175,000	170,000	5,000	
③ 受取会費	(1,010,000)	(1,610,000)	(△ 600,000)	
賛助会費受取会費	1,010,000	1,610,000	△ 600,000	
④ 受取寄付金	(2,100,000)	(1,100,000)	(1,000,000)	
受取寄付金	2,100,000	1,100,000	1,000,000	
⑤ 雑収益	(0)	(0)	(0)	
雑収益	0	0	0	
経常収益 計	8,042,000	7,880,000	162,000	
(2) 経常費用				
① 事業費				
仁科記念賞顕彰費	2,800,000	3,480,000	△ 680,000	
仁科記念講演会費	200,000	199,800	200	
仁科記念奨励金	1,020,000	1,455,200	△ 435,200	
研究関連出版物刊行費	0	100,000	△ 100,000	
諸謝金	400,000	620,000	△ 220,000	
役員報酬	600,000	600,000	0	
給料手当	2,300,000	2,930,000	△ 630,000	
旅費交通費	1,000,000	1,120,000	△ 120,000	
会議費	250,000	210,000	40,000	
通信運搬費	40,000	100,000	△ 60,000	
消耗品費	200,000	200,000	0	
賃借料	480,000	480,000	0	
物件使用料	420,000	350,000	70,000	
支払手数料	30,000	30,000	0	
雑費	600,000	0	600,000	
事業費合計	10,340,000	11,875,000	△ 1,535,000	74.70 %
② 管理費				
諸謝金	330,000	330,000	0	
役員報酬	600,000	600,000	0	
給料手当	1,250,000	1,840,000	△ 590,000	
福利厚生費	20,000	20,000	0	
旅費交通費	150,000	340,000	△ 190,000	
会議費	50,000	55,000	△ 5,000	
印刷製本費	250,000	140,000	110,000	
通信運搬費	50,000	100,000	△ 50,000	
消耗品費	160,000	150,000	10,000	
賃借料	120,000	120,000	0	
物件使用料	360,000	350,000	10,000	
支払手数料	10,000	10,000	0	
雑費	152,000	100,000	52,000	
管理費合計	3,502,000	4,155,000	△ 653,000	25.30 %
経常費用 計	13,842,000	16,030,000	△ 2,188,000	
当期経常増減額	△ 5,800,000	△ 8,150,000	2,350,000	

2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益 計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用 計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 5,800,000	△ 8,150,000	2,350,000	
一般正味財産期首残高	63,500,000	65,000,000	△ 1,500,000	
一般正味財産期末残高	57,700,000	56,850,000	850,000	
II 指定正味財産増減の部				
基本財産運用益	4,757,000	5,000,000	△ 243,000	
一般正味財産への振替額	△ 4,757,000	△ 5,000,000	243,000	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	636,324,975	636,324,975	0	
指定正味財産期末残高	636,324,975	636,324,975	0	
III 正味財産期末残高	694,024,975	693,174,975	850,000	

令和5年度(2023年度) 収支予算書(損益計算ベース)内訳書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

公益財団法人仁科記念財団

(単位:円)

科 目	公益目的事業	法人会計	合 計	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	(3,329,900)	(1,427,100)	(4,757,000)	
基本財産受取利息	3,329,900	1,427,100	4,757,000	
② 特定資産運用益		(175,000)	(175,000)	
特定資産受取利息		175,000	175,000	
③ 受取会費	(505,000)	(505,000)	(1,010,000)	
賛助会費受取会費	505,000	505,000	1,010,000	
④ 受取寄付金	(2,050,000)	(50,000)	(2,100,000)	
受取寄付金	2,050,000	50,000	2,100,000	
⑤ 雑収益	(0)	(0)	(0)	
雑収益	0	0	0	
経常収益 計	5,884,900	2,157,100	8,042,000	
(2) 経常費用				
① 事業費				
仁科記念賞顕彰費	2,800,000		2,800,000	
仁科記念講演会費	200,000		200,000	
仁科記念奨励金	1,020,000		1,020,000	
研究関連出版物刊行費	0		0	
諸謝金	400,000		400,000	
役員報酬	600,000		600,000	
給料手当	2,300,000		2,300,000	
旅費交通費	1,000,000		1,000,000	
会議費	250,000		250,000	
通信運搬費	40,000		40,000	
消耗品費	200,000		200,000	
賃借料	480,000		480,000	
物件使用料	420,000		420,000	
支払手数料	30,000		30,000	
雑費	600,000		600,000	
事業費合計	10,340,000		10,340,000	74.70
② 管理費				
諸謝金		330,000	330,000	
役員報酬		600,000	600,000	
給料手当		1,250,000	1,250,000	
福利厚生費		20,000	20,000	
旅費交通費		150,000	150,000	
会議費		50,000	50,000	
印刷製本費		250,000	250,000	
通信運搬費		50,000	50,000	
消耗品費		160,000	160,000	
賃借料		120,000	120,000	
物件使用料		360,000	360,000	
支払手数料		10,000	10,000	
雑費		152,000	152,000	
経常費用 計	10,340,000	3,502,000	13,842,000	25.30
当期経常増減額	△ 4,455,100	△ 1,344,900	△ 5,800,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益 計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用 計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	△ 5,800,000	
一般正味財産期首残高	0	0	63,500,000	
一般正味財産期末残高	0	0	57,700,000	
II 指定正味財産増減の部				
基本財産運用益	3,329,900	1,427,100	4,757,000	
一般正味財産への振替額	△ 3,329,900	△ 1,427,100	△ 4,757,000	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	636,324,975	
指定正味財産期末残高	0	0	636,324,975	
III 正味財産期末残高	0	0	694,024,975	

新評議員

新理事

ご略歴

(すでに公開されているものを編集しました)

永宮正治

高エネルギー加速器研究機構・ダイヤモンドフェロー

理化学研究所仁科加速器科学研究センター客員主管研究員

1967年 - 東京大学理学部物理学科卒業

1972年 - 大阪大学大学院博士課程修了

1972年 - 東京大学理学部助手

1977年 - 米国ローレンス・バークレー国立研究所研究員

1982年 - 東京大学理学部助教授

1986年 - 米国コロンビア大学教授

1997年 - 東京大学原子核研究所教授

1997年 - 高エネルギー加速器研究機構 教授

2006年 - J-PARCセンター長（2012年まで）、東レ科学技術賞受賞

2013年 - 理化学研究所研究顧問（2018年まで）

小谷元子 理事・副学長 略歴

氏 名：小谷 元子（こたに もとこ）

生年月日：昭和35年1月1日

学 歴：

昭和58年3月 東京大学理学部数学科卒業

平成2年2月 東京都立大学大学院理学研究科理学博士



職 歴：

平成2年4月 東邦大学理学部講師

平成5年9月 独マックスプランク研究所客員研究員（～6年8月）

平成11年4月 東北大学大学院理学研究科数学専攻助教授

平成13年4月 仏高等科学研究所（IHES）訪問教授（～11月）

平成16年1月 東北大学大学院理学研究科数学専攻教授

平成20年8月 東北大学ディスティンディングイッシュトプロフェッサー（～26年3月）

平成23年3月 東北大学原子分子材料科学高等研究機構副機構長

平成24年4月 東北大学原子分子材料科学高等研究機構長

平成26年3月 内閣府総合科学技術・イノベーション会議議員（非常勤）（～令和4年3月）
11月 沖縄科学技術大学院大学学園理事

平成27年6月 （一社）日本数学会理事長（～29年5月）

平成29年4月 東北大学材料科学高等研究所長（組織名称変更による）

4月 国立研究開発法人理化学研究所 理事（～令和2年3月）

平成31年4月 東北大学高等研究機構長

令和2年4月 東北大学理事・副学長

令和3年10月 国際学術会議理事会（次期会長）

専門分野：

数学、微分幾何学、離散幾何解析学

受賞歴：

平成17年3月 第25回 猿橋賞

平成17年11月 東北大学総長特別賞

平成23年3月 東北大学総長教育賞

中村道治
国立研究開発法人科学技術振興機構 顧問

経歴

1967 年 3 月 東京大学大学院理学系研究科修士課程(物理)修了
1967 年 4 月 株式会社 日立製作所入社 中央研究所勤務
(化合物半導体、光エレクトロニクスの研究開発)
1990 年 8 月 同社 日立研究所 副所長
(エネルギー、環境、材料の研究開発)
1992 年 8 月 同社 中央研究所 所長
(エレクトロニクス、情報通信、ライフサイエンスの研究開発)
2001 年 4 月 同社 理事 研究開発本部長
(全社研究開発)
2004 年 4 月 同社 執行役副社長
(全社研究開発、新事業育成)
2007 年 4 月 同社 フェロー
2008 年 6 月 同社 取締役
2011 年 10 月 独立行政法人 科学技術振興機構 理事長
⇒2015 年 4 月 国立研究開発法人 科学技術振興機構に名称変更
(政策達成型研究開発、科学技術情報提供、次世代人材育成、
科学技術コミュニケーション)
2015 年 10 月 国立研究開発法人 科学技術振興機構 顧問 科学技術振興特別主監
2016 年 5 月 公益社団法人日本工学アカデミー 理事
2017 年 10 月 国立研究開発法人 科学技術振興機構 顧問

理学博士 学位論文名「分布帰還形半導体レーザの研究」

主な外部活動歴

2008 年 5 月 中性子産業利用推進協議会 運営委員会 委員長
2008 年 7 月 産業競争力懇談会 実行委員長
2010 年 6 月 つくばイノベーションアリーナ(TIA)ナノテク拠点運営会議 議長
2011 年 7 月 日本経済団体連合会 産業技術委員会 企画部会長
2011 年 10 月 文部科学省 科学技術・学術審議会委員
2013 年 4 月 つくばグローバル・イノベーション推進機構 機構長

受賞他

IEEE LEOS 業績賞(1991)
文部科学大臣賞「科学技術功労者表彰」(2001)
社団法人日本電機工業会「永年功績者表彰」(2008)
IEEE、電子情報通信学会、応用物理学会 フェロー

須藤 靖

東京大学大学院理学系研究科教授

1986 年 カリフォルニア大学バークレー校 ミラー基礎科学研究所研究員

1988 年 茨城大学理学部物理教室 助手

1990 年 広島大学理論物理学研究所 助教授

1990 年 京都大学基礎物理学研究所 助教授

1993 年 東京大学大学院理学系研究科物理学専攻 助教授

2006 年 同 教授

2014 年 東京大学大学院理学系研究科

ビッグバン宇宙国際研究センター長

2005 年 第 9 回 日本天文学会 林忠四郎賞

初田哲男

理化学研究所数理創造プログラムディレクター

1992 年 - ワシントン州立大学物理学科アシスタントプロフェッサー

1993 年 - 筑波大学物理学系助教授

1998 年 - 京都大学大学院理学研究科助教授

2000 年 - 東京大学大学院理学系研究科教授

2012 年 - 理化学研究所 仁科加速器研究センター副センター長

2016年 - 理化学研究所数理創造プログラムディレクター

2012年 仁科記念賞

早野龍五

東京大学名誉教授

1979年、東京大学理学部附属中間子科学実験施設助手

1982年、高エネルギー物理学研究所助教授

1985年、東京大学理学部客員助教授、

1986年、東京大学理学部物理助教授、

1997年～2017年、東京大学大学院理学系研究科教授

(2001年7月から2002年6月まではCERN研究所のEP部門で客員教授)

2008年 仁科記念賞